

■ESMPRO/ServerAgent(Linux)ログ情報 Ver4.1.6-1以降

2019/09

補足事項

- 1) ESMPRO/ServerAgentのログ情報は下記内容で固定の為、変更(例ファイル名変更等)することは出来ません。
- 2) サーバの構成・環境・ESMPRO/ServerAgentバージョン等により、存在しないファイルもあります。
- 3) ログの内容は内部仕様に関わるため、詳細を公開することが出来ませんので、概要のみ記載しております。申し訳ありませんが、ご了承くださいませ様お願い致します。
- 4) ログファイルは削除しないでください。ESMPRO/ServerAgentの動作に影響がある場合や、障害調査時に原因特定に至らない場合があります。
- 5) テキスト形式のログファイルはサービスやコマンド動作時の文字コード(EUC、UTF-8)に依存します。

ディレクトリ名	ファイル名	概要	ファイル サイズ上限	形式	文字コード	ローテーションのタイミング	世代数	ローテーション後ファイル名	備考	ログ削除について
/opt/nec/esmpro_sa/log										調査に必要な情報が含まれるため、基本的に削除されたいようお願いいたします。 削除されている場合、調査に影響がある場合があります。
	AMRCOPY.LOG	通報テーブルの導入と削除に関するログ	なし	テキスト	UTF-8	ログファイルが存在する場合、ログファイルを削除し、新規にログファイルを作成する。	なし	なし	通報テーブルの導入と削除するときにログに記録する。通報テーブルの格納先は以下です。	ログを削除できます。
	amritypy.log	通報データ作成コマンド(プロセス名: amritypy)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	amritypy.log.1 ~ amritypy.log.5	通報データ作成コマンドを実行するとログに記録する。	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	ESMagnetconf.log	監視設定コマンド(プロセス名: ESMagnetconf)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.1存在する場合、*log.1は削除し、ローテーションする。	1世代	ESMagnetconf.log.1	/opt/nec/esmpro_sa/bin/amritypy	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	ESMamsadm.log	通報設定コマンド(プロセス名: ESMamsadm)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	ESMamsadm.log.1 ~ ESMamsadm.log.5		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	esmsamset.log	コンフィグレーションツール(プロセス名: esmsamset)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ログファイルを削除し、新規にログファイルを作成する。	なし	なし		ログを削除できます。
	ESMamvmmain.log	Syslog監視・通報サービス(プロセス名: ESMamvmmain)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	ESMamvmmain.log.1 ~ ESMamvmmain.log.5		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	ESMcmn.log	監視スレイト起動・停止サービス(プロセス名: ESMcmn)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	ESMcmn.log.1 ~ ESMcmn.log.5		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	esmdata.log	ESMPRO/ServerAgentに関するログ	16MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ログファイルを削除し、新規にログファイルを作成する。	なし	なし	Ver.4.1.8-1以降の場合、ログファイルは存在しません。	ログを削除できません。
	ESMfilesys.log	ファイルシステム監視サービス(プロセス名: ESMfilesys)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8			ESMfilesys.log.1 ~ ESMfilesys.log.5		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	ESMftcuti.log	ftサーバユーティリティ(プロセス名: ESMftcuti)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8			ESMftcuti.log.1 ~ ESMftcuti.log.5		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	ESMftreport.log	ftサーバ通報サービス(プロセス名: ESMftreport)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	ESMftreport.log.1 ~ ESMftreport.log.5		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	ESMIS.log	ftサーバ構成監視サービス(プロセス名: ESMIS)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8			ESMIS.log.1 ~ ESMIS.log.5		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	ESMlan.log	ネットワーク(LAN)監視サービス(プロセス名: ESMlan)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8			ESMlan.log.1 ~ ESMlan.log.5		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	ESMmenu.log	ESMPRO起動メニューコマンド(プロセス名: ESMmenu)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8	ログファイルが存在する場合、ローテーションする。 *log.1が存在する場合、*log.1は削除し、ローテーションする。	1世代	ESMmenu.log.1		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	ESMmix.log	Mylexディスクアレイ監視サービス(プロセス名: ESMmix)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8			ESMmix.log.1 ~ ESMmix.log.5	Ver.4.5.12-1以降の場合、ログファイルは存在しません。	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	ESMntserver.log	基幹サービス(プロセス名: ESMntserver)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8			ESMntserver.log.1 ~ ESMntserver.log.5		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	ESMpowersw.log	DCスイッチ監視サービス(プロセス名: ESMpowersw)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	ESMpowersw.log.1 ~ ESMpowersw.log.5	Ver.4.5.12-1以降の場合、ログファイルは存在しません。	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	ESMpows.log	DCスイッチ監視サービス(プロセス名: ESMpows)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8			ESMpows.log.1 ~ ESMpows.log.5	Ver.4.5.12-1以降の場合、ログファイルは存在しません。	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	ESMps.log	ftサーバ状態推移の監視サービス(プロセス名: ESMps)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8			ESMps.log.1 ~ ESMps.log.5		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	ESMRestart.log	ESMPRO/ServerAgentの再起動コマンド(プロセス名: ESMRestart)に関するログ	なし	テキスト	UTF-8	ローテーションしない。	なし	なし	ESMPRO/ServerAgentの再起動コマンドを手動で実行する時にのみログを記録する。 /opt/nec/esmpro_sa/bin/ESMRestart	ログを削除できます。
	esmsenrd.log	SEL監視サービス(プロセス名: ESMsmrv)に関するログ	なし	テキスト	UTF-8	ログファイルが存在する場合、bakは削除し、ローテーションする。 *bak.4まで存在する場合、*bak.4は削除し、ローテーションする。	1世代	esmsenrd.bak	ESMsmrvサービス起動時にログを記録する。	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	esmsset.sh.log	日本語設定ツール(esmsset.sh)に関するログ	なし	テキスト	UTF-8	ローテーションしない。	なし	なし	日本語設定ツールを手動で実行する時にのみログを記録する。 /opt/nec/esmpro_sa/tools/esmsset.sh	ログを削除できます。
	esmsmfllw.log	SEL監視サービス(プロセス名: ESMsmrv)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *bak.4まで存在する場合、*bak.4は削除し、ローテーションする。	5世代	esmsmfllw.bak ~ esmsmfllw.bak.4		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	esmsmsel.log	SEL監視サービス(プロセス名: ESMsmrv)に関するログ	100KB	バイナリ	—	ファイルサイズが上限に達した場合、Baseboard Management Controller (BMC) のSystem Event Log (SEL) レコード件数、SEL容量によって、ローテーションする。 *dat.4まで存在する場合、*dat.4は削除し、ローテーションする。	5世代	esmsmsel.dat ~ esmsmsel.dat.4	ローテーションファイルは /opt/nec/esmpro_sa/data/に格納する。	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	ESMsmrv.log	SEL監視サービス(プロセス名: ESMsmrv)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	ESMsmrv.log.1 ~ ESMsmrv.log.5		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	ESMstrg.log	ストレージ監視サービス(プロセス名: ESMstrg)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8			ESMstrg.log.1 ~ ESMstrg.log.5		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	esmsstrg.log	ストレージ監視サービス(プロセス名: ESMstrg)に関するログ	なし	バイナリ	—	ローテーションしない。	なし	なし	Ver.4.2.0-1以降の場合、ログファイルは存在しません。	ログを削除できません。
	esmsysrep.log	コンフィグレーションツール(プロセス名: esmsysrep)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	esmsysrep.log.1 ~ esmsysrep.log.5		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	expfd.log	エクスペンス通報ツール(プロセス名: expfd)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8			expfd.log.1 ~ expfd.log.5	Ver.4.4.22-1以降の場合、ログファイルは存在しません。	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	ioclt_test.log	IOCTLコマンド発行ツール(プロセス名: ioclt_test)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ログファイルを削除し、新規にログファイルを作成する。	なし	なし	障害情報採取ツールを実行した時にログを記録する。 /opt/nec/esmpro_sa/tools/collectsa.sh	ログを削除できます。
	ipmi.dat	SEL/SDR/FRU/SMBIOS情報	なし	バイナリ	—	ログファイルが存在する場合、ログファイルを削除し、新規にログファイルを作成する。ファイルサイズの上限はありませんが、装置の構成により異なりますが、40KB程度のログファイルを作成する。	なし	なし	障害情報採取ツールを実行した時にログを記録する。 /opt/nec/esmpro_sa/tools/collectsa.sh	ログを削除できます。
	mixlog	Mylexディスクアレイ監視サービス(プロセス名: ESMmix)に関するログ	32KB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	なし	なし	Ver.4.5.12-1以降の場合、ログファイルは存在しません。	ログを削除できません。
	ntagent.log	SNMP通報サービス(プロセス名: ntagent)に関するログ	10MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	ntagent.log.1 ~ ntagent.log.5		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
	PPLink.log	通報テーブルの導入と削除に関するログ	50KB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ログファイルを削除し、新規にログファイルを作成する。	なし	なし	通報テーブルの導入と削除するときにログに記録する。通報テーブルの格納先は以下です。	ログを削除できます。
	sethwinf.log	ハードウェア情報設定コマンド(プロセス名: sethwinf)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ログファイルを削除し、新規にログファイルを作成する。	なし	なし	ハードウェア情報設定コマンドを実行するとログを記録する。 /opt/nec/esmpro_sa/tools/sethwinf	ログを削除できます。
	vmset.log	ESMPRO/ServerAgent for VMwareのインストールに関するログ	なし	テキスト	UTF-8	ローテーションしない。	なし	なし	ESMPRO/ServerAgent for VMwareをインストール・アップグレードする時にのみログを記録する。	ログを削除できます。
	xrsutil.log	ESRASユーティリティ(プロセス名: xrsutil)に関するログ	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.5まで存在する場合、*log.5は削除し、ローテーションする。	5世代	xrsutil.log.1 ~ xrsutil.log.5		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
/opt/nec/esmpro_sa/log/ISDB										
output.txt		ft構成監視サービス(プロセス名: ESMIS)に関するログ	なし	テキスト	UTF-8	ESMISサービスが起動する時にログファイルが存在する場合、ログファイルを削除し、新規にログファイルを作成する。	なし	なし		ログを削除できません。

ディレクトリ 名									
ファイル名	概要	ファイル サイズ上限	形式	文字コード	ローテーションのタイミング	世代数	ローテーション後ファイル名	備考	ログ削除について 調査に必要な情報が含まれるため、基本的に削除されないようお願いします。 削除されている場合、調査に影響があることがあります。
snap1.txt	ft構成監視サービス(プロセス名:ESMIS)に関するログ	なし	テキスト	UTF-8	ESMISサービスが起動する時にローテーションする。 snap5.txtまで存在する場合、snap5.txtは削除し、ローテーションする。	4世代	snap2.txt ~ snap5.txt		稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。
/etc/esmpro/									
Esmpro-common.log	Esmpro-commonパッケージのインストールに関するログ	なし	テキスト	UTF-8	ローテーションしない。 RPMパッケージをインストールする時に、ログファイルが存在する場合、ログファイルを削除し、新規にログファイルを作成する。 RPMパッケージをアップグレードする時は、アップグレード情報をログファイルに追記する。 ファイルサイズの上限はありませんが、1回につき1.3KB程度の情報をログファイルに記録する。	なし	なし		ログを削除できません。
Esmpro-Express.log	Esmpro-Expressパッケージのインストールに関するログ	なし	テキスト	UTF-8			なし		ログを削除できません。
Esmpro-ExpressEnhance.log	Esmpro-ExpressEnhanceパッケージのインストールに関するログ	なし	テキスト	UTF-8			なし		ログを削除できません。
Esmpro-ft.log	Esmpro-ftパッケージのインストールに関するログ	なし	テキスト	UTF-8			なし		ログを削除できません。
Esmpro-IPMIv10.log	Esmpro-type2パッケージのインストールに関するログ	なし	テキスト	UTF-8			なし		ログを削除できません。
Esmpro-IPMIv15.log	Esmpro-type3パッケージのインストールに関するログ	なし	テキスト	UTF-8			なし		ログを削除できません。
Esmpro-NoIPMI.log	Esmpro-type1パッケージのインストールに関するログ	なし	テキスト	UTF-8			なし		ログを削除できません。
/opt/nec/esmpro_diskmon/									
esmpro_diskmon.log	HDDアクセス不可監視モジュールに関するログ	4MB	テキスト	UTF-8	ファイルサイズが上限に達した場合、ローテーションする。 *log.1が存在する場合、*log.1は削除し、ローテーションする。	1世代	esmpro_diskmon.log.1	HDDアクセス不可監視モジュール (esmpro_diskmon)を導入した後、監視間隔 毎にログを記録する。	稼働・停止中を問わず、ローテート後のファイルのみ、ログを削除できます。